**みんぱくフォーラム2014**
**東アジア展示があたらしくなりました!!**
朝鮮半島の文化・中国地域の文化・日本の文化「沖縄のくらし」「多みんぞくニホン」の展示場が新しくなって3月20日（木）にオープンしました！

**■関連イベント**

**◆みんぱく映画会**

**「台湾映画鑑賞会――映画から台湾を知る」**
台湾映画は、その質の高さと台湾社会を描き出す力に満ちあふれています。
映画上映の前には映画の内容に関する台湾社会や歴史経験に関する解説があります。

**第1回「村と爆弾（原題：稲草人）」**
日時　4月29日（火・祝）13時30分～16時（13時開場）

**第2回「超級大国民（原題：超級大國民）」**
日時　5月6日（火・振休）13時30分～16時30分（13時開場）
会場　本館講堂（定員450名）
※申込不要、参加無料（要展示観覧券）
※当日10時から講堂入口にて整理券を配布

**◆展示場クイズ「みんぱQ」**
中国地域の文化編
期間　4月24日（木）～5月27日（火）

**企画展**
**「みんぱくおもちゃ博覧会――大阪府指定有形民俗文化財『時代玩具コレクション』」**
会期　5月15日（木）～8月5日（火）
本コレクションは、昭和50年代から収集されたものであり、江戸時代以降のニホンの玩具史の全容を知ることができます。

**みんぱくワールドシネマ**
**「マイネーム・イズ・ハーン」**
9・11テロ直後のアメリカにおけるイスラム教徒の葛藤と勇気を描いた作品を通して異文化に生きる人びとについて考えます。
日時　5月31日（土）13時～16時30分（12時30分開場）
会場　本館講堂（定員450名）
※申込不要、参加無料（要展示観覧券）
※当日10時から講堂入口にて整理券を配布

**みんぱくミュージアムパートナーズ**
**点字体験ワークショップ**
日時　4月12日（土）12時～15時30分
　　5月10日（土）12時～15時30分
会場　本館エントランスホール
※当日随時受付、参加無料

**みんぱく春の遠足・校外学習　事前見学&ガイダンス**
春の遠足・校外学習にむけて事前見学に来館される学校団体の先生方を対象としたガイダンスを開催します。新しくなった展示についても研究者が展示場で説明します。
実施日　4月3日（木）、4日（金）
時間　14時～17時
会場　本館第5セミナー室ほか
**参加申込方法**
本館ホームページから参加申込書をダウンロードし、必要事項を記入の上、FAXにてお送りください。
**お問い合わせ先**
広報企画室　広報係
電話　06・6878・8560

**みんぱく創設40周年記念　カレッジシアター**
**「映像で見る、みんぱく研究者が語る喜味家たまごの地球探究紀行」**
研究者が撮影した世界各地の記録映像と研究者によるレクチャーであなたの知らない世界を体感しませんか。「三味線放談」の喜味家たまごさんとのフリートークもお楽しみください。
近鉄百貨店ならではの美味しいお弁当付き。
日時　毎週水曜日　月3回　11時～13時30分
場所　あべのハルカス近鉄本館ウイング館9階「SPACE9」
主催　産経新聞社
特別協力　国立民族学博物館、千里文化財団
※要事前申込（申込締切は各回開催日の1週間前）、参加費4940円（税込み）
**お申し込み・お問い合わせ先**
電話　06・6633・9087
ウェーブ産経大阪カレッジシアター係まで。
詳しくは、産経新聞のホームページをご覧ください。
https//www.esankei.com/minpaku

**第1回**　4月9日（水）
講師　寺田吉孝（本館 教授）
**演じる音――チャルメラの響きに人が集う**

**第2回**　4月16日（水）
講師　三尾稔（本館 准教授）
**インドの大地に春を呼ぶ――ホーリーの火祭り**

**第3回**　4月23日（水）
講師　川瀬慈（本館 助教）
**唄をなりわいに生きる人びと――エチオピアの楽師アズマリ**

なお、みんぱくフリーバス、国立民族学博物館友の会会員証、キャンパスメンバーズの学生証等をお持ちの方は、ご提示いただくと、観覧券は不要です。

**●無料観覧日のお知らせ**
5月5日（月・祝）のこどもの日は、本館展示を無料で観覧いただけます。ただし自然文化園を通行される場合は、入園料が必要です。
**※各イベントについてくわしくはホームページをご覧ください。**
**※電話でのお問い合わせの受付時間は、9時から17時（土日祝を除く）です。**

**●研究公演、映画会等参加方法変更のお知らせ**
4月から、研究公演、みんぱく映画会、みんぱくワールドシネマにご参加いただく際、当館の観覧券のご提示をお願いすることといたしました。観覧券は、当館観覧券売場または自然文化園各ゲート脇の券売機等にてお買い求めください。

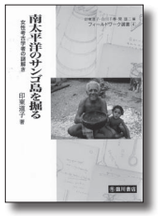
**●みんぱくミュージアムパートナーズ（MMP）新規メンバー募集**
みんぱくミュージアムパートナーズは、観覧者にみんぱくをより楽しんでもらうために自主的な企画を運営する市民パートナーです。現在9月から活動する新しい仲間を募集中です。
応募期間　5月10日（土）まで（30名）
**お問い合わせ先**
みんぱくミュージアムパートナーズ事務局
平成26年度新規募集係（本館社会連携室内）
Email　mmp-jimukyoku@idc.minpaku.ac.jp

刊行物紹介

■関雄二　著
**『アンデスの文化遺産を活かす――考古学者と盗掘者の対話（フィールドワーク選書）』**

**臨川書店　2,000円（税抜）**
遺跡をめぐる破壊と対立を乗り越えた先にあるものとは!？現地の人びとの多様な価値観や歴史観に触れながら文化遺産を継承する意味を考え、実践します。

■印東道子　著
**『南太平洋のサンゴ島を掘る――女性考古学者の謎解き（フィールドワーク選書）』**



**臨川書店　2,000円（税抜）**
小さなサンゴ島で人はどうやって生活してきたのか？多くの新発見から見えてきたサンゴ島で暮らす工夫とは？発掘調査とそれに続く分析研究を臨場感豊かに描きます。



## みんぱくゼミナール

**会場**　本館講堂（定員450名）
**時間**　13時30分～15時（13時開場）
**定員**　450名（当日先着順）
**参加費**　無料（展示をご覧になる方は観覧料が必要です）

東南アジア華僑が故郷の家族に宛てた手紙

第431回　4月19日（土）
**世界の華僑・華人と〝故郷〟**
**講師　陳天璽**（早稲田大学 准教授・本館 特別客員教員）
中国国外に居住する中国系は華僑・華人と呼ばれており、4000万人以上いるとみられています。世界に根を下ろしながらも中国の伝統文化を守り続けている人びともいれば、異民族との通婚や世代交代により独特な複合文化を形成している人びともいます。そんな彼らの多彩な日常生活から、〝故郷〟とのかかわりについてみていきます。

人種差別デモに対して催された反差別デモ（2013年大阪　藤井幸之介撮影）

第432回　5月17日（土）
**多みんぞくニホンのいま――特別展から10年**
**講師　庄司博史**（国立民族学博物館 教授）
2004年3月特別展「多みんぞくニホン」がみんぱくで開催されました。外国人の急増により単一民族社会といわれた日本の大きな変化を予兆する展示でした。10年後の今年3月本館展示に「多みんぞくニホン」のコーナーが設けられました。この間、経済不況、東日本大震災など多くの試練をへて日本は外国人にとってどのように変化したのでしょうか。

## みんぱくウィークエンド・サロン
## 研究者と話そう

**時間　14時30分～15時30分**
**要展示観覧券**
※都合により、予定を変更することがあります。
国立民族学博物館の研究者が来館された皆様の前に登場します！「研究について」「調査している地域（国）の最新情報」「展示資料について」など、話題や内容は実に多彩。どんどん質問をおよせください。展示場でお待ちしております。

4月6日（日）
**話者　伊藤悟**（国立民族学博物館 外来研究員）
**話題　徳宏タイ族の音文化――音で対話する楽器と織機**
**会場**　本館展示場（ナビひろば）

4月13日（日）
**話者　庄司博史**（国立民族学博物館 教授）
**話題　外国人集住地域って？**
**会場**　日本の文化展示「多みんぞくニホン」セクション

4月20日（日）
**話者　野林厚志**（国立民族学博物館 教授）
**話題　台湾原住民族の工芸文化――むかし、今、そして未来**
**会場**　本館展示場（ナビひろば）

4月27日（日）
**話者　八杉佳穂**（国立民族学博物館 教授）
**話題　マヤ文字で名前を書いてみよう**
**会場**　本館展示場（ナビひろば）

国立民族学博物館創設40周年記念　日本文化人類学会50周年記念
**「イメージの力――国立民族学博物館コレクションにざぐる」**
迫りくる力、驚きとの出会い、このアートを体験しよう
会期　6月9日（月）まで
会場　国立新美術館　企画展示室2E（東京）
詳しくは、国立新美術館のホームページをご覧ください。
http://www.nact.jp/

＊

**「渋沢敬三記念事業　屋根裏部屋の博物館――Attic Museum」**
会期　5月6日（火・振休）まで
会場　埼玉県立歴史と民俗の博物館

## 友の会

国立民族学博物館友の会　電話 06-6877-8893（平日9時～17時）　FAX 06-6878-3716
http://www.senri-f.or.jp/　　e-mail minpakutomo@senri-f.or.jp

**友の会講演会（大阪）**
**会場　国立民族学博物館　第5セミナー室**
**定員　96名（当日先着順、会員証提示）**

第431回　5月3日（土）14時～15時
**【新 中国地域の文化展示関連】**
**漢族はなぜ家族を大切にするのか**
**講師　韓敏**（国立民族学博物館 教授）
今回の展示には婚礼グッズ、位牌、家系図（族譜）などがあらたに加わります。これらは漢族のくらしに欠かせない大切なものですが、どのように用いられているのでしょうか。たとえば族譜は定期的に記録が見直され、名前以外にもさまざまなことが記載されます。ここからどのようなことが読み取れるのでしょうか。近年の社会事情の変化にも注目しながら、漢族にとっての祖先祭祀と個々の命のつながりについて考えてみます。

第432回　6月7日（土）14時～15時
**【新 日本の文化展示関連】**
**多みんぞくの街・新大久保とハラールフード産業**
**講師　菅瀬晶子**（国立民族学博物館 助教）
日本有数の多みんぞくの街、東京都新宿区の新大久保。韓流の街と思われがちですが、じつは多種多様な移民が混住しています。本講演では、新大久保が多みんぞくの街となった歴史を振り返るとともに、近年もっとも活気のある「イスラーム通り」に注目します。イスラームの教えに沿った食べ物であるハラールフード産業は、この街でいかにして花開いたのでしょうか。当日は、新大久保で売られているハラールフードのサンプルを、実際に手に取っていただくこともできます。
※ともに講演会終了後、講師をまじえ、1時間程度の懇談会をおこないます。こちらも是非ご参加ください。

**引き続き7月以降も、あたらしくなった東アジア展示に関連した講演会を予定しています。**
**7月は日本の文化展示より「沖縄のくらし」、8月は朝鮮半島の文化展示について、お話しいただきます。**